

吉田町水道工事施工管理基準

吉田町上下水道課
令和3年4月1日

目 次

1	目的	P 1
2	適用	P 1
3	構成	P 1
4	管理の実施	P 1
5	管理項目及び方法	P 1
6	規格値	P 2
7	写真撮影要領	P 2
8	出来形管理基準	P 4
9	品質管理基準	P 5
10	写真管理基準	P 6

1 目的

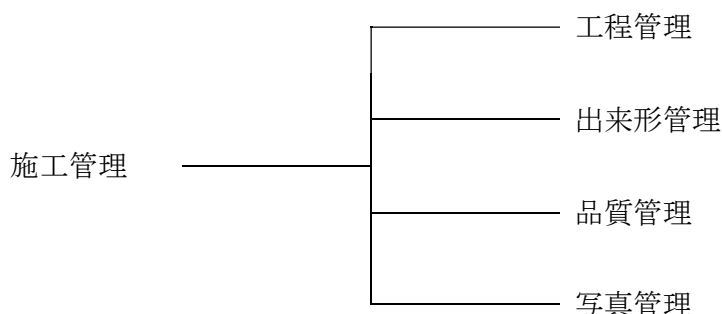
この管理基準は、吉田町上下水道課が発注する水道工事の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2 適用

この管理基準は、吉田町上下水道課が発注する水道工事について適用する。ただし、設計図書に明示されていない仮設構造物等は除くものとする。なお、この管理基準にない項目については、静岡県土木工事施工管理基準によるものとする。

また、工事の種類、規模、施工条件等により、この管理基準によりがたい場合又は静岡県土木工事施工管理基準に基準が定められていない工種については、監督員と協議の上、施工管理を行うものとする。

3 構成



4 管理の実施

- (1) 受注者は、工事施工前に施工管理計画（出来形及び品質管理計画等）及び施工管理担当者を定めなければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行わなければならない。
- (3) 受注者は、測定（試験）等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施しなければならない。
- (4) 受注者は、測定（試験）等の結果を適切な管理のもと保管し、監督員の請求に対し直ちに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

5 管理項目及び方法

(1) 工程管理

受注者は、工事内容に応じて適切な工程管理（ネットワーク（PERT）又はバーチャート方式など）を行うものとする。

ただし、修繕工事等の当初工事計画作成が困難な工事内容については省略できるものとする。

(2) 出来形管理

受注者は出来形を「8 出来形管理基準」に定める測定項目及び測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形管理表（静岡県土木工事施工管理基準様式2-1）を作成し管理するものとする。

(3) 品質管理

受注者は、品質を品質管理基準に定める試験項目、試験方法及び試験基準により管理するものとする。

(4) 写真管理

受注者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を写真管理基準及び写真撮影要領により撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し直ちに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

6 規格値

受注者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値について、全てが規格値を満足しなければならない。なお、測定値の平均の規格値があるものについては、そちらも満足しなければならない。

ただし、監督員と協議を行い、明確な理由を示し、かつ、機能上に支障がなければ、この限りではないものとする。

7 写真撮影要領

(1) 撮影方法

写真撮影に当たっては、次の項目のうち必要事項を記載した表示板（図1）とともに写し込むこと。

ア 工事名

イ 工種

ウ 測点

エ 設計寸法

オ 実測寸法

※ 実測寸法は、赤色で記載すること。

カ 設計寸法と実測寸法の差

※ 設計寸法と実測寸法の差は赤色で記載すること。

キ 略図

ク 日付

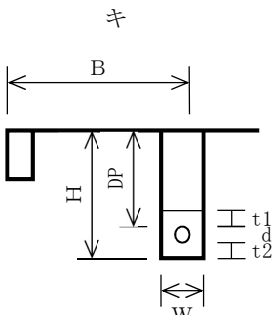
ア 工事名	令和〇年度 建設改良事業 〇〇〇〇〇線配水管布設替工事		
イ 工種	配水管布設工		
ウ 測点	No. 1		
キ	エ 設計	オ 実測	カ 差
	DP=	650	650 ±0
	H=	868	878 +10
	t1=	100	100 ±0
	t2=	100	110 +10
	W=	550	560 +10
	B=	1800	1780 -20
d=HPE φ 100 (外径 118mm)			
ク 令和〇〇年〇〇月〇〇日			

図1 表示板

(2) 撮影の要点

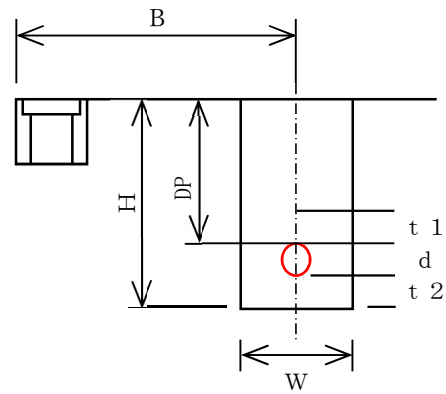
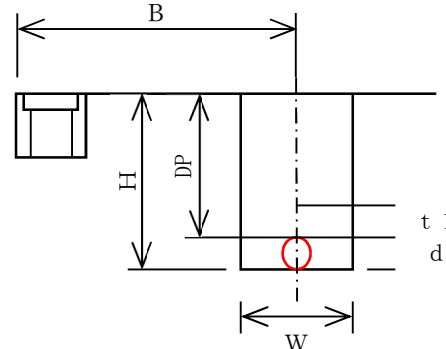
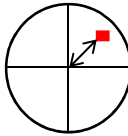
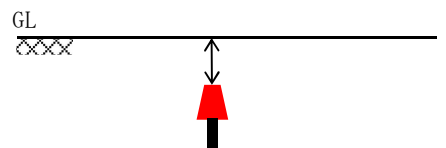

写真は契約図書に基づき、工事が適正に施工されたことを確認するためのものである。特に工事完成後の不可視分野についての立証資料となるものであるため、以下の事項に留意して撮影すること。

- ア 1枚の写真で状況確認ができない場合は、連続撮影等により両方を関係づけること。
また、必要に応じて遠距離と近距離から撮影を行うこと。
- イ 出来形管理写真は、被写体の形状・寸法が判定できるように、必ず寸法を示す器具（箱尺又はリボンテープ等）及び表示板を入れて撮影すること。
- ウ 品質管理写真は、遠距離からの検査・測定・試験等を行っている全景の写真及び近距離からの規格・基準等と照合又は対比して確認ができる写真とすること。
- エ 完成写真は、着手前写真と対照できるよう同一箇所から同一方向で撮影すること。
- オ 写真は、監督員の提出指示があった場合、直ちに提出できるように整理しておくこと。

8 出来形管理基準

管布設工

(測定単位：mm)

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定・管理方法	摘要
管据付工	土被り (DP)	- 0 +50	測点又は50m毎 ※ただし布設延長が50m以下の場合、1工事毎2箇所 ※土被りの変化点及び占用位置の変化点においても測定	コンパックス計測 出来形管理表	布設管：H P E 
	掘削深さ (H)	- 0 +50			布設管：D C I P 
	管上砂巻厚 (t 1)	- 0 +50			
	管下砂厚 (t 2)	- 0 +50			
	掘削下幅 (W)	- 0 +50			
	占用位置 (B)	-30 +30			
弁栓類・鉄蓋据付工	※1 仕切弁設置 (スピンドル位置)	中心から +30mm	施工箇所毎	コンパックス計測 出来形管理表	
	キャップ等の深さ (仕切弁)	GLから -150～ -450	施工箇所毎		
	※2 キャップ等の深さ (消火栓・空気弁)	GLから -150～ -250	施工箇所毎		
	路面との段差	段差がないこと	施工箇所毎	目視 写真管理	

※1 仕切弁設置 (スピンドル位置) は、鉄蓋の中心からスピンドルの中心までの距離とする。

※2 キャップ等の深さ (消火栓・空気弁) は、本体最上部 (キャップより高い部分があればその深さ) の地盤面からの距離とする。

9 品質管理基準

品質管理項目

工種	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要
水圧試験	管路水圧試験	管内に充水し所定の水圧を負荷	管路に漏水等異常がないこと。 《一般》 試験水圧：1.0MP a 耐圧時間：60分 保持水圧：0.9MP a 《水道用ポリエチレン1種二層管》 試験水圧：0.75MP a 耐圧時間：10分 保持水圧：0.6MP a	通水時	監督員が立会い実施
	不断水工事の水圧試験		試験水圧に耐え、漏水等異常がないこと。 試験水圧：1.25MP a 耐圧時間：5分	施工箇所毎	現場状況によりこれにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
管の接合	ダクティル鉄管継手部接合検査	・目視 ・ゲージ等による計測	ダクティル接合要領書（日本ダクティル鉄管協会）による。	施工箇所毎	継手チェックシート（ダクティル接合要領書）のチェックシートを使用
	配水用ポリエチレン管継手部接合検査		施工マニュアル（配水用ポリエチレンパイプシステム協会）による。	施工箇所毎	継手チェックシート（施工マニュアル）を使用

10 写真管理基準

写真管理項目

区分	工種・種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	摘要
着手前 及び 完成	着手前	全景	着手前	測点又は 50m 毎	
	完成	全景	完成後	測点又は 50m 毎	
施工状況	工事施行中	施行中の写真 (工種・種別毎)	施行中	工種、種別ごとに 共通仕様書及び諸 基準に従い施工し ていることが確認 できるように適宜	
	土留工	使用材料 施工状況	施工後	施工箇所毎	
	仮設配水管	配管状況	施工中又は 施工後	現場に応じ数箇所	
		撤去状況	施工中又は 施工後	現場に応じ数箇所	
	管切断工	施工状況	施工中	1 工事 1 回以上	
弁栓類・既設管引揚げ	撤去状況	施工中又は 施工後	現場に応じ数箇所		
安全管理	安全管理	工事表示板等	設置後	各工事場所	
		保安施設	設置状況	各工事場所	
		交通誘導員	作業状況	各工事場所	
		K. Y. K	実施中	1 現場 1 回以上	
		安全会議	実施中	開催毎	
土工事	土工事	舗装版切断	切断状況	施工中	測点又は 50m 毎
		舗装版取壊し工	取壊し状況 積み込み状況	施工中又は 施工後	測点又は 50m 毎
		掘削工	掘削下幅 掘削深さ	掘削完了後	測点又は 50m 毎
		埋戻工	仕上り状況 厚さ	・管回り埋 戻し後 ・転圧後	測点又は 50m 毎
		路盤工	仕上り状況 厚さ	転圧後	測点又は 50m 毎
		仮復旧工	仕上り状況 厚さ	完了後	測点又は 50m 毎
	舗装本復旧	舗装版切断	切断状況	施工中	測点又は 50m 毎
		舗装版取壊し工	取壊し状況 積み込み状況	施工中又は 施工後	測点又は 50m 毎

区分	工種・種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	摘要	
土工事	舗装本復旧	不陸整正工 下層路盤工 上層路盤工	補足材 整正状況 転圧状況 厚さ	施工後	測点又は 50m 毎	
		瀝青材散布工	仕上り状況	散布中又は 散布後	測点又は 50m 毎	
		基層工 表層工 中間層工 コンクリート 舗装版	整正状況 転圧状況 厚さ	完了後	測点又は 50m 毎	
			コア採取 厚さ	完了後		
		区画線工	仕上り状況	完了後	施工日に 1 回	
管工事	管工事	管明示テープ工	取付状況	取付完了後	測点又は 50m 毎	
		管据付工	配管状況	据付完了後	全路線の配管が確認出来るよう撮影	
		管接合工	接合状況	・接合状況 ・完了後	測点又は 50m 毎	
		管埋設深度	土被り	据付完了後	測点又は 50m 毎	
		占用位置	管埋設位置	据付完了後	測点又は 50m 毎	
		管明示シート工	深さ	敷設完了後	測点又は 50m 毎	管上部より 30cm 上に敷いた所を撮影
		連絡箇所	配管状況 土被り	施工後	施工箇所毎	
		伏越・変化点等	配管状況 土被り	施工後	施工箇所毎	
	弁栓類	基礎工	施工状況	施工後	施工箇所毎	
		弁栓類取付工	取付状況	取付後	施工箇所毎	
		無収縮モルタル充填工	充填状況	充填中	施工箇所毎	
		鉄蓋・土留据付工	設置状況	設置後	施工箇所毎	
		鉄蓋据付工	路面との段差	完成後	施工箇所毎	
給水管	管据付工	配管状況	据付完了後	施工箇所毎		
	管接合工	既設給水管接合部分	接合完了後	施工箇所毎		

区分	工種・種別		撮影項目	撮影時期	撮影頻度	摘要
その他	不断水工	不断水連絡工・簡易仕切弁取付工等	施工状況	施行中 施工後	施工箇所毎	
	水圧試験	配水管	水圧状況	測定開始時 30分経過時 測定終了時	試験実施箇所毎	
		不断水工事の水圧試験	水圧状況	測定時	試験実施箇所毎	
	アスファルト舗装工	温度測定	測定状況	・到着時 ・締固め前 ・開放時	1工事1回以上	
	使用機械	建設機械	機械全景	作業前	指定機種毎	排出ガス対策型ステッカー
	材料検収	使用材料	形状 寸法 規格 外観	検収時	品目毎	
	産業廃棄物		保管状況	施行中	1工事各種1回以上	
	発生土処理		残土仮置場の状況 処理場搬入前 処理場搬入後	施行中	1工事各種1回以上	
	環境対策・イメージアップ等		各施設設置状況	設置後	各種毎1回	

様式集

E F 接合チェックシート

E F ソケット 接合チェックシート

E F 接合チェックシート																							
工事名：																							
呼び径： mm				施工場所：																			
発電機の機種名：						コントローラの機種名：																	
正常作動確認： 正常 (100V~110V) 異常				正常作動確認： 正常 (エラー表示なし) 異常																			
確認ポイント																							
継手 No. <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>																							
略図																							
天候																							
融着	管の点検・清掃																						
	切削長さのマーキング																						
	融着面の切削																						
	融着面の清掃																						
	挿入標線の記入																						
	管と継手の挿入・固定																						
検査	正常終了の確認 正・異 正・異 正・異 正・異 正・異 正・異 正・異 正・異 正・異 正・異																						
	通電終了時刻 : : : : : : : : :																						
	インジケータの確認																						
冷却	冷却時間(分)																						
	固定の解除時刻 : : : : : : : : :																						
接合総合判定		合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否												
備考：																							
施工年月日				施工会社名				現場代理人氏名		施工者氏名													
平成 年 月 日																							

※配水用ポリエチレンパイプシステム協会

ダクティル鉄管 GX型継手チェックシート (直管)

GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)		平成 年 月 日		
工事名				配管工
図面No.・測点				
呼び径				

1 直管

チェックゲージ
b: チェックゲージの入り込み量

b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲 (mm)
75	8~18
100	8~18
150	11~21
200	11~21
250	11~21
300	14~24
400	14~25

2

白線

3 P-Link 締め付けトルク: 100N・m

チェックゲージ
b: チェックゲージの入り込み量

4 締め付けトルク: 100N・m

白線 (赤線で明示した線)

5 (直管挿し口を挿入する場合)

白線 (赤線で明示した線)

6 (異形管挿し口、P-Linkを挿入する場合)

白線 (赤線で明示した線)

管 No.										
管の種類										
略図/ライナ										
継手 No.										—
挿し口突部の有無										—
清掃・異物の除去										—
ライナの位置確認(d部)※1										5
受口溝(ロック)の確認										—
挿し口の挿入量の明示										4 5
爪、押しボルトの確認(P-Link)										—
滑 剤										—
マーキング(白線)位置の確認※2										5
挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離の確認(異形管挿し口)※3										6
マーキング(白線)の明示(異形管挿し口)※4										6
受口端面～ゴム輪間隔(b)※5	金属チェック									
	①									
	②									
	③									1
	④									3
	⑤									
	⑥									
	⑦									
受口端面～白線間隔(a) ^注	①									2
	③									
	⑤									4
	⑦									
押しボルト	本数									4
	トルク確認									
判定										—
備考										

判定基準 : ※1 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
 ※2 接合直後にマーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
 ※3 挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。
 ※4 挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。
 ※5 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
 注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さを 4) a寸法を記入する。

※日本ダクティル鉄管協会

ダクティル鉄管 GX型継手チェックシート (異形管)

GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)		平成 年 月 日
工事名		配管工
図面No.・測点		
呼び径		

1

のみ込み量の実測値 (X)

2

のみ込み量の実測値 (X)

白線 (現地で明示した線)

3

押輪またはG-Link
ゴム輪

現地で明示した線

30mm程度

4

ストップを引き抜く

白線 (現地で明示した線)

5

施工管理用突起部

受口端面

6 G-Linkを使用する場合

締め付けトルク: 100N・m

押しボルト

切管挿し口

爪

判定基準 ※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突起部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
 ※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストップを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。
 (注)挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

ダクティル鉄管 GX型継手チェックシート (継ぎ輪)

GX形継手 継ぎ輪チェックシート				平成 年 月 日
工事名				
図面No.・測点				配管工
呼び径				

2

4

5 G-Linkを使用する場合

締め付けトルク：100N・m

管 No.			
管の種類			
略図			
継手 No.			—
挿し口突部の有無 ^{注1)}			—
清掃・異物の除去			—
白線A,Bの明示			1
爪、押ボルトの確認(G-Link)			—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認			—
滑 剤			—
ロックリング、ストップの確認			—
ストップの引き抜き			—
受口端面～ 白線の間隔 (L') ^{注2)}	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
両挿し口端の 間隔 (y1) ^{注2)}	①		3
	③		
	⑤		
	⑦		
T頭ボルト	本数		4
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※	箇所数		4
	隙間ゲージ 確認		
押しボルト	本数		5
	トルク確認		
判 定			
備 考			

① ③ ⑤ ⑦

10 80 Ø1

白線B 白線

単位mm	
呼び径	Ø1+80
75	240
100	245
150	265
200	275
250	275
300	305
400	320

(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm	
呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
400	150

(ii) せめ配管の場合

単位mm	
呼び径	y1
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
400	300

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
 注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。
 注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。